

**理科系**

令和4年度 入学試験問題・答案紙・数学公式集

# 数 学

(情—自然, コン・理・医・工・農)

2月26日(土) 10:00—12:30

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図まで、この冊子を開いてはいけない。
2. 冊子の枚数は表紙を含めて12枚(そのうち問題紙1枚、答案紙4枚、数学公式集3枚)である。
3. 落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所などがあったら、ただちに申し出よ。
4. 解答にかかる前にこの冊子左端の折り目をていねいに切り離し、すべての答案紙の所定の2箇所に受験番号を記入せよ。
5. 解答は必ず各問題別の答案紙の表の所定の欄に記入し、裏に記入してはいけない。
6. この冊子の答案紙以外の余白は、草稿用に使用してよい。
7. 数学公式集は問題と無関係に、文科系、理科系の区別なく作成されたものであるが、答案作成にあたって利用してよい。
8. 試験終了後退室の許可があるまでは、退室してはいけない。
9. 答案紙は持ち帰ってはいけない。その他は持ち帰ってよい。



# 問 題 紙

1  $a, b$  を実数とする。

- (1) 整式  $x^3$  を 2 次式  $(x - a)^2$  で割ったときの余りを求めよ。
- (2) 実数を係数とする 2 次式  $f(x) = x^2 + ax + \beta$  で整式  $x^3$  を割ったときの余りが  $3x + b$  とする。 $b$  の値に応じて、このような  $f(x)$  が何個あるかを求めよ。

2 1つのサイコロを 3 回投げる。1回目に出る目を  $a$ , 2回目に出る目を  $b$ , 3回目に出る目を  $c$  とする。なおサイコロは 1 から 6 までの目が等しい確率で出るものとする。

- (1)  $ab + 2c \geq abc$  となる確率を求めよ。
- (2)  $ab + 2c$  と  $2abc$  が互いに素となる確率を求めよ。

3 複素数平面上に、原点  $O$  を頂点の 1 つとする正六角形  $OABCDE$  が与えられている。ただしその頂点は時計の針の進む方向と逆向きに  $O, A, B, C, D, E$  とする。互いに異なる 0 でない複素数  $\alpha, \beta, \gamma$  が、

$$0 \leq \arg\left(\frac{\beta}{\alpha}\right) \leq \pi, \quad 4\alpha^2 - 2\alpha\beta + \beta^2 = 0, \quad 2\gamma^2 - (3\alpha + \beta + 2)\gamma + (\alpha + 1)(\alpha + \beta) = 0$$

を満たし、 $\alpha, \beta, \gamma$  のそれぞれが正六角形  $OABCDE$  の頂点のいずれかであるとする。

- (1)  $\frac{\beta}{\alpha}$  を求め、 $\alpha, \beta$  がそれぞれどの頂点か答えよ。
- (2) 組  $(\alpha, \beta, \gamma)$  をすべて求め、それぞれの組について正六角形  $OABCDE$  を複素数平面上に図示せよ。

4 関数  $f(x)$  は区間  $x \geq 0$  において連続な増加関数で  $f(0) = 1$  を満たすとする。ただし  $f(x)$  が区間  $x \geq 0$  における増加関数であるとは、区間内の任意の実数  $x_1, x_2$  に対し  $x_1 < x_2$  ならば  $f(x_1) < f(x_2)$  が成り立つときをいう。以下、 $n$  は正の整数とする。

(1)  $\lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^{2-\frac{1}{n}} \frac{f(x)}{2-x} dx = \infty$  を示せ。

(2) 区間  $y > 2$  において関数  $F_n(y)$  を  $F_n(y) = \int_{2+\frac{1}{n}}^y \frac{f(x)}{x-2} dx$  と定めるとき、 $\lim_{y \rightarrow \infty} F_n(y) = \infty$  を示せ。また  $2 + \frac{1}{n}$  より大きい実数  $a_n$  で

$$\int_0^{2-\frac{1}{n}} \frac{f(x)}{2-x} dx + \int_{2+\frac{1}{n}}^{a_n} \frac{f(x)}{2-x} dx = 0$$

を満たすものがただ 1 つ存在することを示せ。

- (3) (2) の  $a_n$  について、不等式  $a_n < 4$  がすべての  $n$  に対して成り立つことを示せ。



# 数 学 公 式 集

この公式集は問題と無関係に作成されたものであるが、答案作成にあたって利用してよい。この公式集は持ち帰ってよい。

(不 等 式)

1.  $\frac{a+b}{2} \geq \sqrt{ab}$ ,  $\frac{a+b+c}{3} \geq \sqrt[3]{abc}$ , ( $a, b, c$  は正または 0)
2.  $(a^2 + b^2 + c^2)(x^2 + y^2 + z^2) \geq (ax + by + cz)^2$

(三 角 形)

3.  $\frac{a}{\sin A} = \frac{b}{\sin B} = \frac{c}{\sin C} = 2R$
4.  $a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A$
5.  $S = \frac{1}{2}bc \sin A = \sqrt{s(s-a)(s-b)(s-c)}$ , ( $s = \frac{1}{2}(a+b+c)$ )

(図 形 と 式)

6. 数直線上の 2 点  $x_1, x_2$  を  $m:n$  に内分する点、および外分する点： $\frac{mx_2 + nx_1}{m+n}, \frac{mx_2 - nx_1}{m-n}$
7. 点  $(x_1, y_1)$  と直線  $ax + by + c = 0$  との距離、および点  $(x_1, y_1, z_1)$  と平面  $ax + by + cz + d = 0$  との距離：  
$$\frac{|ax_1 + by_1 + c|}{\sqrt{a^2 + b^2}}, \frac{|ax_1 + by_1 + cz_1 + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}}$$
8. だ円  $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$  上の点  $(x_1, y_1)$  における接線： $\frac{x_1x}{a^2} + \frac{y_1y}{b^2} = 1$
9. 双曲線  $\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1$  上の点  $(x_1, y_1)$  における接線： $\frac{x_1x}{a^2} - \frac{y_1y}{b^2} = 1$

(ベ ク ト ル)

10. 2 つのベクトルのなす角： $\cos \theta = \frac{\vec{a} \cdot \vec{b}}{|\vec{a}| |\vec{b}|}$



(複素数)

11. 極形式表示 :  $z = r(\cos \theta + i \sin \theta)$ , ( $r = |z|$ ,  $\theta = \arg z$ )
12.  $z_1 = r_1(\cos \theta_1 + i \sin \theta_1)$ ,  $z_2 = r_2(\cos \theta_2 + i \sin \theta_2)$  に対し,  $z_1 z_2 = r_1 r_2 \{ \cos(\theta_1 + \theta_2) + i \sin(\theta_1 + \theta_2) \}$
13. ド・モアブルの公式 :  $z = r(\cos \theta + i \sin \theta)$  に対し,  $z^n = r^n(\cos n\theta + i \sin n\theta)$

(解と係数の関係)

14.  $x^2 + px + q = 0$  の解が  $\alpha$ ,  $\beta$  のとき,  $\alpha + \beta = -p$ ,  $\alpha\beta = q$
15.  $x^3 + px^2 + qx + r = 0$  の解が  $\alpha$ ,  $\beta$ ,  $\gamma$  のとき,  $\alpha + \beta + \gamma = -p$ ,  $\alpha\beta + \beta\gamma + \gamma\alpha = q$ ,  $\alpha\beta\gamma = -r$

(対数)

$$16. \log_a M = \frac{\log_b M}{\log_b a}$$

(三角関数)

17.  $\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$   
 $\cos(\alpha + \beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$
18.  $\tan(\alpha + \beta) = \frac{\tan \alpha + \tan \beta}{1 - \tan \alpha \tan \beta}$
19.  $\cos 2\alpha = 1 - 2 \sin^2 \alpha = 2 \cos^2 \alpha - 1$
20.  $\sin \alpha \cos \beta = \frac{1}{2} \{ \sin(\alpha + \beta) + \sin(\alpha - \beta) \}$   
 $\cos \alpha \sin \beta = \frac{1}{2} \{ \sin(\alpha + \beta) - \sin(\alpha - \beta) \}$   
 $\cos \alpha \cos \beta = \frac{1}{2} \{ \cos(\alpha + \beta) + \cos(\alpha - \beta) \}$   
 $\sin \alpha \sin \beta = -\frac{1}{2} \{ \cos(\alpha + \beta) - \cos(\alpha - \beta) \}$

21.  $\sin A + \sin B = 2 \sin \frac{A+B}{2} \cos \frac{A-B}{2}$   
 $\sin A - \sin B = 2 \cos \frac{A+B}{2} \sin \frac{A-B}{2}$   
 $\cos A + \cos B = 2 \cos \frac{A+B}{2} \cos \frac{A-B}{2}$   
 $\cos A - \cos B = -2 \sin \frac{A+B}{2} \sin \frac{A-B}{2}$

$$22. a \sin \theta + b \cos \theta = \sqrt{a^2 + b^2} \sin(\theta + \alpha), \quad (\sin \alpha = \frac{b}{\sqrt{a^2 + b^2}}, \cos \alpha = \frac{a}{\sqrt{a^2 + b^2}})$$

(数列)

23. 初項  $a$ , 公差  $d$ , 項数  $n$  の等差数列の和 :  $S_n = \frac{1}{2} n(a + \ell) = \frac{1}{2} n \{ 2a + (n-1)d \}$ , ( $\ell = a + (n-1)d$ )
24. 初項  $a$ , 公比  $r$ , 項数  $n$  の等比数列の和 :  $S_n = \frac{a(1-r^n)}{1-r}$ , ( $r \neq 1$ )
25.  $1^2 + 2^2 + 3^2 + \cdots + n^2 = \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1)$   
 $1^3 + 2^3 + 3^3 + \cdots + n^3 = \left\{ \frac{1}{2} n(n+1) \right\}^2$



(極限)

$$26. \lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{n}\right)^n = e = 2.71828\cdots$$

$$27. \lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin x}{x} = 1$$

(微積分)

$$28. \left\{f(g(x))\right\}' = f'(g(x))g'(x)$$

$$29. x = f(y) のとき \frac{dy}{dx} = \left(\frac{dx}{dy}\right)^{-1}$$

$$30. x = x(t), y = y(t) のとき \frac{dy}{dx} = \frac{y'(t)}{x'(t)}$$

$$31. (\tan x)' = \frac{1}{\cos^2 x}, (\log x)' = \frac{1}{x}$$

$$32. x = g(t) のとき \int f(g(t))g'(t)dt = \int f(x)dx$$

$$33. \int f'(x)g(x)dx = f(x)g(x) - \int f(x)g'(x)dx$$

$$34. \int \frac{f'(x)}{f(x)}dx = \log|f(x)| + C$$

$$35. \int \log x dx = x \log x - x + C$$

$$36. \int_0^a \sqrt{a^2 - x^2} dx = \frac{1}{4}\pi a^2 (a > 0), \int_0^a \frac{dx}{x^2 + a^2} = \frac{\pi}{4a} (a \neq 0), \int_a^\beta (x - \alpha)(x - \beta)dx = -\frac{1}{6}(\beta - \alpha)^3$$

$$37. \text{回転体の体積} : V = \pi \int_a^b \{f(x)\}^2 dx$$

$$38. \text{曲線の長さ} : \int_a^b \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} dx = \int_a^\beta \sqrt{\left(\frac{dx}{dt}\right)^2 + \left(\frac{dy}{dt}\right)^2} dt, (x = x(t), y = y(t), a = x(\alpha), b = x(\beta))$$

(順列・組合せ)

$$39. {}_nC_r = {}_{n-1}C_r + {}_{n-1}C_{r-1}, (1 \leqq r \leqq n-1)$$

$$40. (a+b)^n = \sum_{r=0}^n {}_nC_r a^{n-r} b^r$$

(確率)

$$41. \text{確率 } p \text{ の事象が } n \text{ 回の試行中 } r \text{ 回起る確率} : P_n(r) = {}_nC_r p^r q^{n-r}, (q = 1 - p)$$

$$42. \text{期待値} : E(X) = \sum_{i=1}^n x_i p_i, \text{ ただし } p_i \text{ は確率変数 } X \text{ が値 } x_i \text{ をとる確率で, } \sum_{i=1}^n p_i = 1 \text{ をみたすとする。}$$









